

## 小倉卓が執行役員 研究開発担当に就任

～「バイオマスの5F×両利きの経営」の成長戦略をR&Dから加速～

株式会社ユーグレナ

株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充）は、2026年3月1日付で小倉卓が執行役員 研究開発担当に就任することをお知らせします。

当社は「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」のもと、「人と地球を健康にする」というパーパスの実現に向け、研究開発を「原点」かつ「成長の源泉」と位置付けています。

2025年に創業20周年を迎え、「両利きの経営」と「バイオマスの5F」を軸に、「次の10年」に向けて研究と事業を一体で成長させるフェーズへ移行しています。そのためには、研究開発のテーマ設定、ポートフォリオ運営、事業サイドとの接続、外部連携（産学・企業）を含む実行力を統合したR&D体制が不可欠です。研究成果の社会実装を加速させるための体制構築が、今まさに求められています。今回の任用は、その中核を担う人材を得たことで、研究と事業の連携を「仕組み」と「責任」の両面で前進させる戦略的な一手となります。

小倉卓は、研究開発に対する深い知見を有するとともに、これまで化粧品・医薬品・日用品などの事業領域における統括業務に加え、原料開発から製品設計・評価・解析に至るまでを一気通貫で見渡し、研究と事業の双方を理解した上で意思決定を行ってきた開発経験を有しております。今後は、執行役員 研究開発担当として、当社の研究開発をリードすると共に、研究・事業間をより強固につなぐことで、ユーグレナ・グループの更なる成長を実現してまいります。

### 記

#### <小倉卓のコメント>



成長エンジンであるR&Dをリードするにあたり、「次の10年」に向け、研究開発と事業経営の連携を一層重視し、スピード感を持って顧客価値を創出し続けていくことが重要と考えています。その実現のため、メンバー一人一人の卓越したケイパビリティを最大限に引き出し、当社にしかできない唯一無二の研究・事業開発体制を構築し、「人と地球を健康にする」というパーパスの実現に向けて全力で取り組んでまいります。

#### <若原智広 取締役 代表執行役員 Co-CEO のコメント>



2024年の新体制移行以降、「原点回帰」として研究開発を重点領域に据え、Co-CEO直下で推進してきましたが、R&D専任の執行役員の不在は中期的な成長に向けた明確な課題でもありました。

小倉卓は、研究開発の深い専門性に加え、研究成果や素材の事業展開・社会実装も手掛けた経験を有しており、R&Dを次のステージへ引き上げるうえで、これ以上ない人材だと確信しています。

今回、研究開発を専任で担う執行役員として小倉を迎えることで、研究開発の意思決定と実行力を飛躍的に高め、微細藻類ユーグレナ等の用途拡大と社会実装を一層加速させてまいります。

参考：2026年3月1日以降の経営体制

〔取締役〕

役 職	氏 名
代表取締役	出雲 充
取締役	若原 智広
取締役	植村 弘子
取締役	岡島 悦子
取締役	琴坂 将広
取締役監査等委員	清水 誠
取締役監査等委員	望月 愛子
取締役監査等委員	村上 未来

(注) 琴坂将広氏、清水誠氏、望月愛子氏、村上未来氏は社外取締役になります。

〔執行役員〕

役 職	氏 名
代表執行役員 Co-CEO 兼 財務担当	若原 智広
代表執行役員 Co-CEO 兼 人事担当 兼 ヘルスケア BtoB 国内営業・新規領域担当	植村 弘子
上席執行役員 ヘルスケアカンパニーCEO	金 城煥
上席執行役員 エネルギーカンパニー長 兼 経営戦略共同担当 兼 バングラデシュ事業担当	新田 直
執行役員 アグリカンパニー長	井上 陽介
執行役員 研究開発担当	小倉 卓
執行役員 情報統括担当	星野 祐一
執行役員 法務担当	鈴木 悠子

なお、今回の執行役員 研究開発担当の任用に伴い、Co-CEO に対する諮問機関として 2024 年 1 月に設置したサイエンティフィック・アドバイザー・ボードは終了します。当社の R&D 体制強化を 4 年に渡り支えてきた丸幸弘は今回を機に退任しますが、鈴木健吾は共同創業者兼エグゼクティブフェローとして当社の R&D を引き続き全面的に支援し、中野良平も八重山殖産株式会社代表取締役として微細藻類ユーグレナ等の生産開発を率いてまいります。

<株式会社ユーグレナについて>

2005 年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）の食用屋外大量培養技術の確立に成功。「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」をユーグレナ・フィロソフィーと定義し、微細藻類ユーグレナ、クロレラなどを活用した食品、化粧品等の開発・販売、バイオ燃料の製造開発、未利用資源等を活用したサステナブルアグリテック領域などの事業を展開。2014 年より、バングラデシュの子どもたちに豊富な栄養素を持つユーグレナクッキーを届ける「ユーグレナ GENKI プログラム」を、継続的に実施している。<https://euglena.jp>